

令和6年度伊予市生涯学習推進大会 開催報告

令和 7 年 2 月 8 日(土) 9:45～12:10

会場:IYO 夢みらい館 文化ホール

参加者約 120 名

〔開催趣旨〕

少子高齢化・核家族化・高度情報化の急速な進展により、家庭・地域の教育力の低下、地域の人間関係の希薄化などが危惧されるようになり、地域社会の果たす役割がますます重要となっている。

そこで、地域団体による活動報告を通して、社会教育活動の充実・発展を図ることにより、全ての人が生涯学び、活躍できる生涯学習社会の構築を推進するとともに、人と人とのつながりを大切にし、いつまでも心豊かに暮らすふるさとづくりを目指す。

令和 7 年 4 月から、市内全ての小中学校でコミュニティ・スクールが実施されることを前に、大会テーマを「これからのコミュニティ・スクールについて」とし、コミュニティ・スクールをより多くの市民に周知し、理解を深めてもらう機会としました。学校や地域のコミュニティ・スクール関係者を中心に約 120 名が参加し、CS マイスターによる講演や市内外の活動事例に学びました。

〔大会日程〕

9:15	9:45	10:00	11:05	12:00	12:10
受付	開会行事	記念講演	活動報告・質疑応答	閉会行事	

(1)開会行事

開会あいさつ	伊予市教育委員会教育長	上岡 孝
来賓祝辞	伊 予 市 長	武智 邦典 様
来賓紹介	伊予市議会議長	門田 裕一 様
	愛媛県議会議員	大西 誠 様
司会	双海地区公民館主事	武智 大海

(2)記念講演

演 題:	「これからのコミュニティ・スクールについて」	
講 師:	文部科学省CSマイスター	西村 久仁夫 氏

(3)活動報告

東温市地域コーディネーター	酒井 あい
伊予市地域学校協働活動推進員 双海中学校区	本多 正彦
進行役 上野地区公民館主事	宮岡 玄

(4)閉会行事

謝 辞	伊予市生涯学習推進委員会副委員長	福岡 保裕
閉会あいさつ	伊予市教育委員会事務局長	窪田 春樹

記念講演

演 題： 「これからのコミュニティ・スクールについて」
 講 師： 文部科学省CSマイスター 西村 久仁夫 氏

西村 CS マイスターから、コミュニティ・スクールの概要説明があり、コミュニティ・スクールが、学校と保護者、地域住民等が、熟議をしながら、力を合わせて、地域の将来を担う子どもたちの豊かな成長を支える仕組みであることが示されました。先行事例の紹介では、学校運営協議会の様子や県内の他市町で実施された地域学校協働活動の様子を動画で紹介いただき、コミュニティ・スクールの具体的なイメージを持つことができました。



ー講師 西村マイスターー



ー会場の様子ー

今、教育が大きく変わろうとしています

- (1) 学習内容が変わっています。
 例1) 小学校に新しく加わった「英語」と「プログラミング」
 例2) キャリア教育での学びが変化してきた。
 ・職業指導 → 進路指導 → キャリア教育(平成15年)
- (2) 教育方法(学び方)が変わっています。
 例1) 探究的な学びが重視されています。(主体的な学び)
 例2) 学校と地域の連携・協働が重視されています。(対話的な学び)

そこで生まれたのが「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の仕組みです。

②

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校と保護者、地域住民等が、熟議しながら、力を合わせて、地域の将来を担う子どもたちの豊かな成長を支える仕組みです。



④

コミュニティ・スクールで行われている活動の紹介



砥部町立麻生小学校の取組

⑤

コミュニティ・スクールでの様々な取組



⑥

活動報告

東温市地域コーディネーター

伊予市地域学校協働活動推進員 双海中学校区

進行役 上野地区公民館主事

酒井 あい

本多 正彦

宮岡 玄

コミュニティ・スクールの実践活動をしている報告者 2 名から、活動報告がありました。東温市の酒井さんから、中学生防災ボランティアを例に子どもたちが力を発揮する場を作る重要性が紹介されました。続いて、市内双海地域の本多さんから、職場体験の事前学習を例に実体感のあるふるさと学習の重要性が紹介されました。

活動報告終了後は、「これからのコミュニティ・スクールについて」という大会テーマに沿って西村 CS マイスターも交えて議論を深めました。



ー報告者：酒井さん、本多さんー



ー活動報告ー



ー進行役：宮岡公民館主事ー



ー講師との意見交換ー

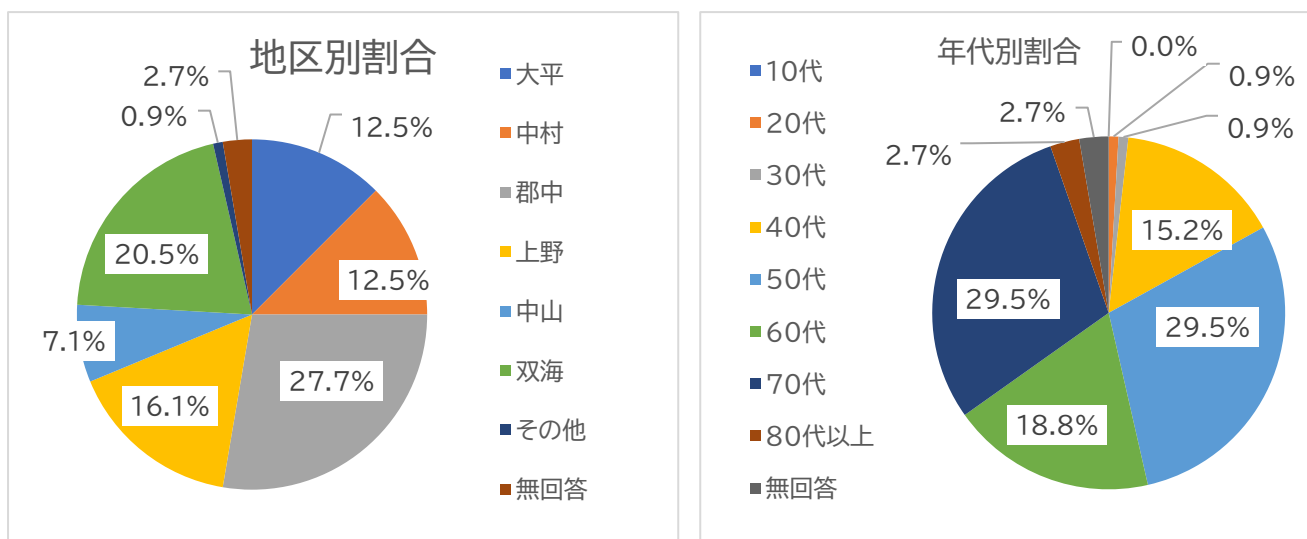


ー西村 CS マイスターからの助言ー



ー会場の様子ー

来場者アンケート集計結果



◆記念講演の内容について

- ・提案するだけで学校に任せるのではなく、地域の私たちが動くことが必要。コミスクの役割は子ども達の心づくりなのかと気づかされました。
- ・コミスクは初めて聞く言葉でしたが、講演はとても分かりやすく勉強になりました。子どもをレールにのせないという言葉がとても印象的でした。
- ・「運営協議会の委員は課題について解決に動く人間でなければいけない」というのがよく分かった。

◆活動報告について

- ・「コーディネーター」というものを知れて良かったです。小中のイベントにもっと参加していきたいと思います。
- ・2024年度からスタートした双海中学校でも、まだ学校と地域のコミュニケーションが難しいと感じる部分があると聞いて、郡中地区のことが少し不安になった。
- ・子どもが関わることで、どんな時でも笑顔で活動できる。大変なときでも「ありがとう」と言う言葉が言えるのだなと思った。子どもの力は大きいですね。
- ・推進員の立ち位置、また校長が何をしたいのが重要だと分かりました。
- ・現在2人の報告者とも手探りでしていることがわかった。これからの解決策として学校の教職員とのつながりが必要になり、一緒にやっていくことが必要だと思った。

◆要望、ご意見などお気づきの点があればお書きください。

- ・今回参加して、初めて「コーディネーター」というものを知った。保護者に向けてもっと情報発信して欲しい。
- ・コミュニティ・スクールって何だろう？と思って説明会などにも参加しましたが、今回が一番分かりやすかったです。

◆学校と地域で一緒に活動できることがあれば教えてください。

- ・防災ボランティア、中学部活動
- ・地域の行事(夏祭り、秋祭り、盆踊り、運動会、敬老会)